

平診「9条の会」かべ新聞

2014年11月号

(通算 12号)
発行責任者：舛田和比古

憲法9条を守る学習講演会

11月1日(土)、芦別市総合福祉センターふれあいホールで、平診9条の会主催で開催されました。講演は「集団的自衛権と日本国憲法」と題して、弁護士の畑地雅之氏が行いました。座長は、平診9条の会代表の舛田和比古医師。

畑地講師は、DVDなども駆使して、憲法の「立憲主義」についてわかりやすく説明、次いで「集団的自衛権」の意味とその危険性について述べ、憲法は権力者(多数派)の暴走をとめ、国際社会での「日本のブランド」だとしめくきました。

参加者からの意見交換では4名の方の発言がありました。「戦争する国づくりに向かえば「徴兵制」が出てくる。」「芦別では660人の戦死者があった。外国人労働者も炭鉱で大勢働かされ、多くの方が亡くなった。米軍の捕虜収容所があった芦別・赤平では空襲がなかった。今、戦争の足音が近づいてきている」「どうすれば戦争しない国を作れるのでしょうか」...講師の畑地さんからいいコメントをしていただきました。

最後に芦別市市議・勤医協芦別社員支部長の松井邦男さんが閉会のあいさつを行い終了しました。赤平の宮越さんから寄せられた「青いアサガオの種」もあつという間に希望する方に渡りました。多くの署名や募金も集まりました。

参加者は用意した椅子が後半にはちょうど満席となり、100名でした。「芦別9条の会」の結成におけ、はずみとなる講演会でした。



100名の参加で大盛況でした

憲法9条を守る学習講演会

講演テーマ
「集団的自衛権と日本国憲法」
講師
畑地雅之 弁護士
川井 浩二 弁護士

学習講演会の呼びかけ人 (あいうえお順：敬称略)

- ・青柳 正和 (赤平健康友の会会長)
- ・阿部 久恵 (新日本婦人の会芦別支部長)
- ・板野 保男 (かつがせ会会長)
- ・木野田真智子
- ・児玉 悦子 (社会福祉法人勤医協空知在宅総合センターセンター長)
- ・佐藤 昭夫 (芦別建設企業組合代表)
- ・佐藤 久子
- ・清水 彩希 (勤医協芦別支部執行委員長)
- ・竹井 清和 (芦別健康友の会会長)
- ・細川 桂輔 (勤医協芦別平和診療所所長)
- ・舛田和比古 (平和診療所9条の会代表)
- ・松井 邦男 (勤医協芦別社員支部長・芦別市市会議員)
- ・三浦 芳一 (建交労札幌労災支部書記次長)
- ・宮田 勇信 (芦別生活と健康を守る会会長)
- ・湯田 清 (じん肺と振動障害労災患者会会長)

沖縄県知事選挙（11月16日投票）に注目！！

いま、沖縄で問われていること

沖縄県知事選が告示されました。全日本民医連は「建白書」の立場で辺野古新基地建設反対を掲げて立候補を表明した翁長雄志（おながたけし）氏（前那覇市長）とともに、沖縄と日本の未来のためにたたかおうと呼びかけています。計画されている新基地は最新鋭の巨大施設で、完成すればここから米軍が世界に出撃します。米国とともに「戦争する国づくり」をすすめる安倍政権を許しているのか、知事選は全国の課題です。



辺野古のある名護市では今年1月の市長選で、基地反対の稲嶺進市長が推進派を引き離し再選。9月の市議選では基地反対の与党が過半数を維持しました。地元マスコミの世論調査でも県民の8割が反対ですが、安倍政権は7月から強引に基地建設を始めました。

沖縄民医連は基地のない平和な沖縄をめざし、知事選に勝利しようと7月に五者共闘（県連、にじの会、沖縄健康企画、メディコープおきなわ、沖縄医療生協労組）を結成。全国からも続々と支援が来ています。（民医連新聞より）

内閣支持率 48%に下落 共同通信社が10月17-18日に実施



内閣支持率	支持 48.1% (54.9%)	不支持 40.2% (29.0%)
消費税率10%への再引き上げ	賛成 31.0% (27.5%)	反対 65.9% (68.2%)
景気回復	実感している 11.9%	実感していない 84.8%
特定秘密保護法による「知る権利」侵害の不安	感じている 58.6%	感じていない 34.5%
カジノ合法化	賛成 30.3%	反対 63.8%

[注] ()内は9月3、4両日実施調査の結果。合計は100%にならない。

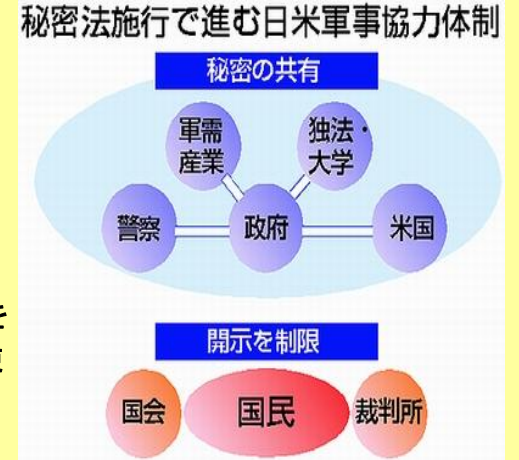
あさがお写真展 終了しました

ご声援ありがとうございました。

「秘密保護法」政令を閣議決定 日弁連・ペンクラブなど抗議

12月10日施行するため、特定秘密の指定や解除のツールなどを定めた運用基準と政令を10月14日の閣議で決定しました。

国民の目と耳と口をふさぎ、戦前のような暗黒社会に道を開くもの。行政機関の長が「安全保障に支障がある」と判断すれば特定機密と指定できる仕組みや、特定秘密を漏らした者、知ろうとした者に対して最長10年という重罰を科すというものです。集団的自衛権行使と秘密保護法が一体となって「海外で戦争する国」をつくる危険が増します。



廃止しか「知る権利」守れない！！

平均寿命: 女性 86.61歳・男性 80.21歳 なぜ世界一に？

- ① 公衆衛生の改善・乳幼児死亡率の低下
- ② 「国民皆保険」をはじめ健康・医療・福祉の仕組みの充実・発展
- ③ 戦後70年間、戦争で一人の日本人のいのちも奪われなかった。平和こそ長寿社会の最大の土台です。医療福祉の切り捨て政策もはめさせましょう！

1947年の平均寿命は男性 50.06歳、女性 53.96歳でした。

集団的自衛権「閣議決定」撤回を求める全道集会

11月20日（木）午後6時：
札幌市民ホール：
「平診9条の会」も実行委員会団体になっています。

社会福祉法人勤医協在宅の芦別のスタッフも「平診9条の会」の構成員となりました。

ゆくのは、わたしら

ゆくのは、わたしら

安倍内閣の改憲暴走を許さない！
九条の会集会&パレード

集団的自衛権行使は海外で戦争すること。

11月24日
13:00~14:30
15:00 出発
日比谷公会堂